



東京大学での所属学部・研究科等:	工学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	コペンハーゲン大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 研究職	<input type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
<input type="checkbox"/>	3. 公務員	<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体
<input checked="" type="checkbox"/>	5. 民間企業(業界:)	<input type="checkbox"/>	6. 起業
<input type="checkbox"/>	7. その他()		

派遣先大学の概要

デンマーク・コペンハーゲンに存在する総合大学

留学した動機

未知の場所で自分がどれくらいやっっていけるのか試してみたかった。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2016年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2016年	9月~	2017年	6月	
	学部3	年時に出発			

④留学後の授業履修:	2017年	学部3	年生の	A1	学期から履修開始	
⑤就職活動の時期:	2020年	修士2	年生の	4月頃に	行う予定	
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			36	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			10	単位	
	留学後の取得(予定)単位			40	単位	
⑦入学・卒業／修了(予定)時期:	2014年	4月入学	2019年	3	月卒業／修了	
⑧本学入学から卒業／修了までの期間:	5年		0ヶ月間			
⑨留学時期を決めた理由:						
研究室配属を決める前に留学するため。						
留学の準備						
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)						
来るメールに従って書かれていることをやっていた。所属部局は専門知識がないと認められない可能性が高いので注意。						
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)						
遅めに手続きをした結果ギリギリの発行になったので、できるだけ早めに。						
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)						
歯医者に行った。						
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)						
東大が用意していた保険のみ加入。						
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)						
特になし。						
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)						
IELTS 6.5 Netflixを少し見ている。						

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

案外現地で揃えられるものばかりだが、ヒートテックと防寒具は必須。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Theories of Urban Design	7.5	●	Theories of Urban Planning and Governance	7.5	●
Outdoor Recreation	7.5	●	European Farm and Food Systems	15	
Danish Culture Course	7.5		Danish Architecture and Urban Design	15	●

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

少人数のグループを組んでグループワークを行う授業が多かった。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

1学期に30ects取ることを求められる。授業は週3-4日。授業以外の学習は本当に個人による。

④学習・研究面でのアドバイス

学習面でも一定の成果を求めるならば授業はしっかり聞いて予習もしっかりすべき。自分の本気度を考えると良い。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

最初はなかなか会話には入れず苦勞した。ゆっくりでも大げさでも不恰好でもいいので仲の良い人とから話していくべし。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舍の様子、見つけた方法など)

スペイン人とバスキッチン全てをシェアしていた。約4000kr/月。大学のHousing Foundationを用いて見つけた。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

曇りの日が多い。交通はほとんど自転車だったので、冬は防寒具が必須。クレジットカードを使えないところはなかったと言っても過言ではない。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安はそこまで気にならなかった。病院にもかからなかった。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

毎月3万(食費2万、雑費1万)

・留学に要した費用総額とその内訳

100万(生活費30万、航空賃10万、家賃60万)

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

東大の財団から月8万

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

休暇には近くの国に旅行をたくさんしていた。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

デンマーク語の講座や、相談窓口のようなものはあったが利用しなかった。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館はとても快適でよく利用した。キャンパス内の公園も快適だった。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

行なっていない。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

知っている働き方の幅は広がったように思う。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

していない。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

授業を受けたりグループワークをする中で、英語能力の低さ・専門分野の知識の浅さを痛感した。何らかの分野のプロになる必要性を感じた。また、全く異なる環境の暮らしを体感した経験と様々な国を旅行したことにより、自分の都市のデータベースが増えたことも収穫だった。

②留学後の予定

自分の専門分野を学び、院まで行く予定である。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

経済的、時間的余裕があるなら、学部での留学に抵抗を感じる必要はないように思います。楽しんでください。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

特になし

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。